

建設常任委員会

平成30年2月定例会 報告

委員長； 伊藤 倫邦 、副委員長； 池田 実

委員； くりはら えりこ、武野 裕子、中村総一郎、大石 和久、松中 健治

(委員長を含めて **計7名** の委員会)

建設常任委員会で審査する市の担当部局

平成29年度

- 1 まちづくり景観部
- 2 都市調整部
- 3 都市整備部
- 4 拠点整備部

以上4部を審査します。

平成30年度

- まちづくり計画部(拠点整備部統合)
- 都市景観部
- 都市整備部

機構改革により3部となります。

平成30年2月定例会において建設常任委員会に付託された議案等

- 新年度(平成30年度)予算関係議案 **8議案**
(条例一部改正2件を含む)
- 現年度(平成29年度)議案 **4議案**
(道路認廃議案2件、補正予算議案2件)
- 報告事項 **8件**
- 陳情 **2件**

【報告事項； 鎌倉駅 西口駅前広場 整備の現状について】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、来訪者と市民が共存できる快適な駅前環境を整えるため、平成30年度に実施設計等を行う予定

再整備の5つの方針

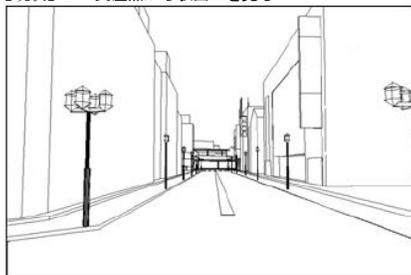
- 1 歩行者(利用者)空間の確保
- 2 適切な機能(施設・設備等)の配置
- 3 快適な空間の創出
- 4 観光客及び市民に親しまれる広場
- 5 景観に配慮し存在感のある広場

※ 意見公募(パブコメ) **平成29年12月5日～平成30年1月5日**

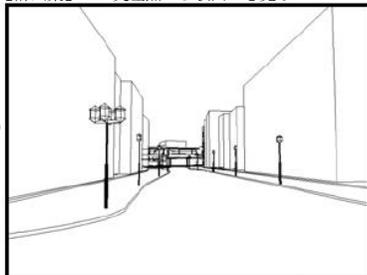
鎌倉駅西口周辺整備計画(案)の方向性

鎌倉駅西口周辺整備計画(案)については、主に、西口駅前広場、市役所通り、市役所前交差点の整備の方向性が話し合われた結果、以下の通りにとりまとめられ、それに関連して、駅舎の改良や今小路通りの整備のあり方についても提案している。これらの実現に向けて、今後、事業化のための検討や、導入機能、商店街の活性化、景観などのソフト面の検討などを進めていく中で計画を精査していく。

【現状】B：交差点から駅西口を見る



【計画案】B：交差点から駅西口を見る



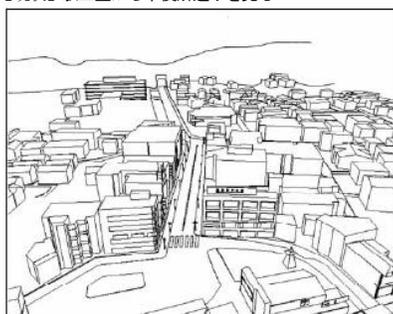
市役所前交差点

- 4方向の完全改良による折れ曲がり形状の解消と、右折車線の設置により、安全でスムーズな交通流を確保（P25, ④案参照）
- 歩行者が安全に待機できるスペースの確保
 - ・都市計画決定線の整備
 - ・市役所、小学校用地を活用した整備

今小路通り

- 歩道拡充により、歩行者の安全性を向上
- ・市役所、小学校用地を活用した、両側歩道の整備

【現状】駅上空から市役所通りを見る



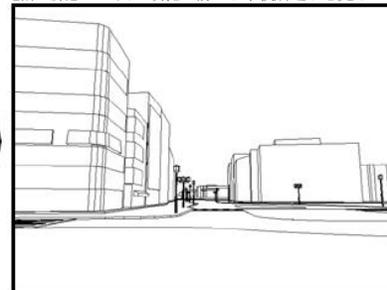
【計画案】駅上空から市役所通りを見る



【現状】A：西口改札口前から市役所通りを見る



【計画案】A：西口改札口前から市役所通りを見る

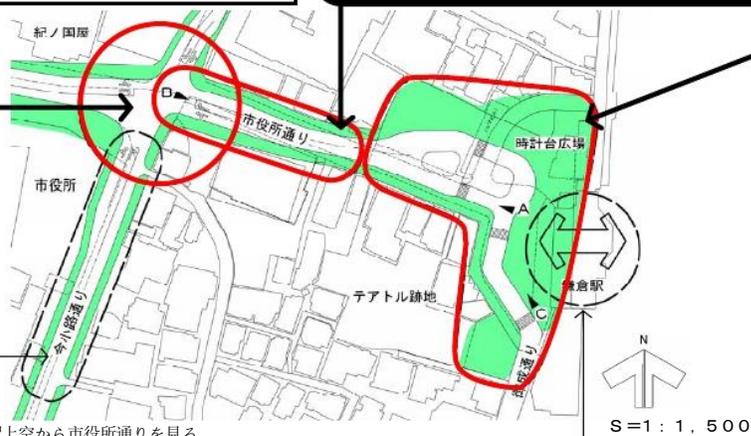


市役所通り

- （P26, C案参照）
- 歩道の拡幅により、安全で快適に歩ける駅前通りを形成
- 曲線形状による、景観的な効果を狙った再整備

西口駅前広場

- （P26, C案参照）
- ゆったりとした歩行者スペースの確保
- ミニバス乗降場の設置とタクシー待機スペースの確保により、駅前の公共交通を充実
- 自家用車送迎スペースの確保により、利便性確保
- 低未利用地を最大限活用した再整備

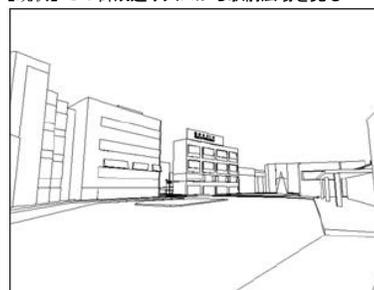


鎌倉駅

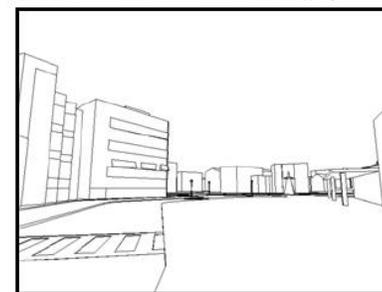
- 駅舎の改良
- 駅構内の東西自由通路化
- 駅に必要な機能（施設など）の導入

※この計画は、協議会において整備の考え方をまとめたものであり、関係者等との協議調整に基づくものではありません。

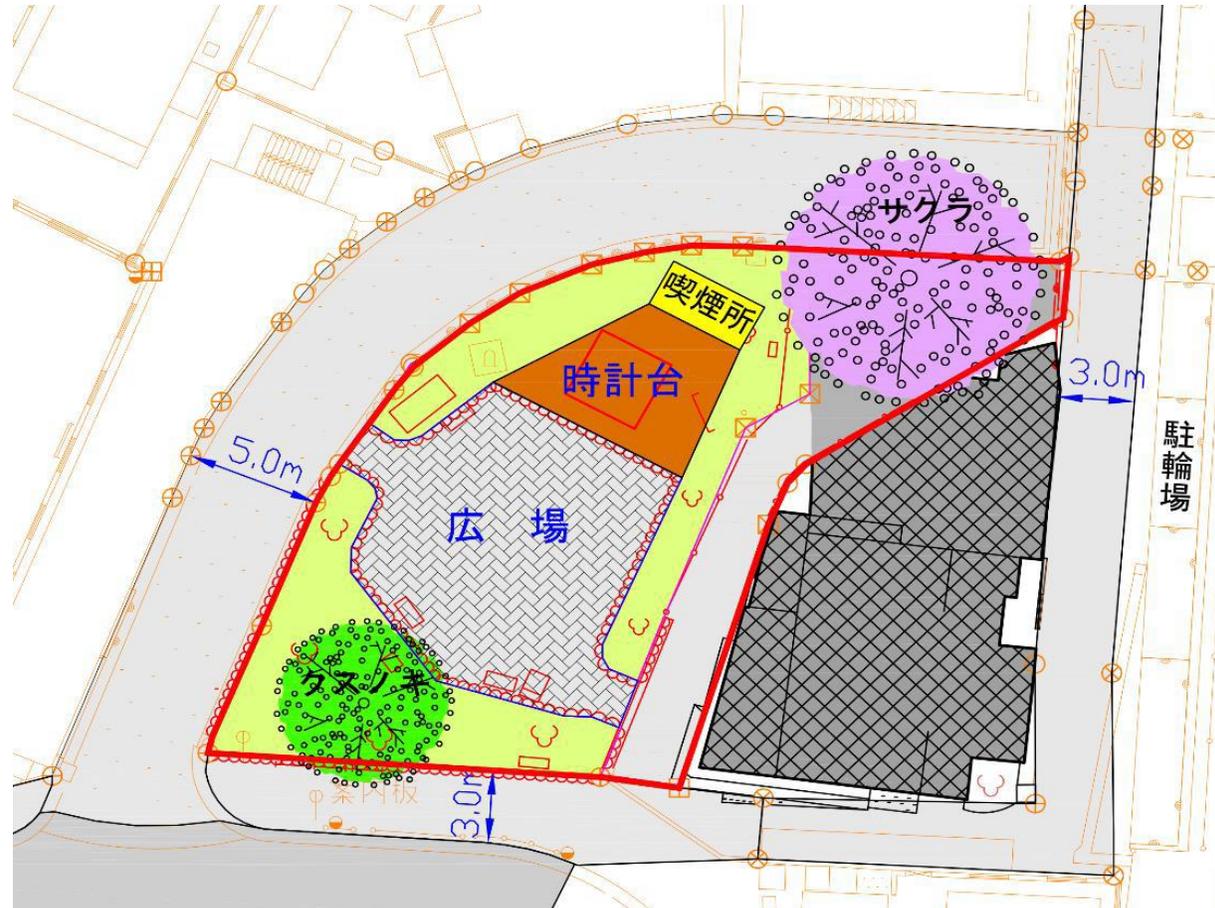
【現状】C：御成通り入口から駅前広場を見る



【計画案】C：御成通り入口から駅前広場を見る



鎌倉駅西口駅前時計台広場 現況図



鎌倉駅西口駅前広場整備イメージ図



鎌倉駅西口駅前広場整備事業の日程

◆平成 29 年度(2017 年度)

「基本設計、用地取得（予定）」

9 月末までに基本方針を策定

10 月中にパブリックコメントを実施

12 月末までに整備方針を策定

3 月までに基本設計を完了

◆平成 30 年度(2018 年度)

「実施設計や地下埋設物調査など」

◆平成 31 年度(2019 年度)

「広場整備工事等を行い、オープン！」